

# 若桐

発行所 235の2 業内  
 町唐津校会  
 市立学窓  
 元唐津同窓  
 津賀等若  
 唐佐高  
 第33号  
 平成25年9月1日発行  
 印刷/平印

## 「君が代」と

### 「校歌」

若桐同窓会会長

毛利 一幸



全国の若桐同窓会の皆さん  
 如何お過ごしでしょうか。  
 今年のおNHK杯県高校野  
 球大会では延長14回の接戦  
 の末、母校が35年ぶりに優  
 勝を果たし、校歌が高らかに  
 歌われました。  
 さて、今回はその校歌に  
 ついて作詞者の柿村重松を  
 紹介したいと思います。  
 柿村重松は明治12年に東  
 十人町に生まれ「松南」と  
 号しました。  
 現在地に母校が移転後、  
 大石神社を通過して通学して  
 いた皆さんは、柿村家の前  
 を通学路としていましたが、

私は全く知りませんでした。  
 また校歌についても、学生  
 時代から歌詞が難解で、閉  
 口していましたが、この度、  
 松南を調べていくにつれ、  
 松南の偉大さに尊敬の念を  
 強くするとともに、今まで  
 気付かなかったことを反省  
 をしているところです。  
 松南は旧制唐津中学を卒  
 業後、現在の二松學舎大学  
 に学び、大阪陸軍幼年学校  
 や旧制福岡高等学校で教鞭  
 をとる傍ら、上下巻二千四  
 百頁に及ぶ「本朝文粹注釈」  
 （現在でも日本漢文学史の  
 研究に必須の書籍）を出版  
 し、時の皇太子（昭和天皇）  
 にこの書籍を献上するとい  
 う栄誉に浴しました。  
 そして大正12年、著名な  
 物理学者らと共に帝国学士  
 院より恩賜賞が授与されて  
 います。  
 また、大正15年には「和  
 漢朗詠集考証」（藤原公任  
 が約千年前に偏纂した漢詩  
 和歌を考証）を発刊、その  
 中で松南は「君が代」が国  
 歌として制定される遙か昔  
 より、国歌としての役割を  
 果たしていたと考証してい

ます。（インターネットで  
 柿村重松と検索すれば、「国  
 歌の豆知識」の欄で、柿村  
 重松の「和漢朗詠集考証」  
 参照とあります）  
 松南は昭和6年夏、大量  
 の血を吐いて、自宅（現存）  
 で53歳の生涯を閉じるので  
 すが、彼の人生は決して平  
 たんではなく、愛妻を産褥  
 で亡く、自分自身も26歳頃  
 より肋膜炎を発症し、何度  
 となく療養と教職復帰を繰  
 り返し、遂には健康も職業  
 も失うという数奇な運命を  
 辿るのですが、松南は自分  
 のことを「不幸ではなかつ  
 た」と言っています。  
 そして松南は、「一切は皆  
 善である。凡ての人は、他  
 の無知をとがめてはならな  
 い。他の愚鈍を責めてはな  
 らない。凡てを寛容して凡  
 てを愛撫すべきである」と  
 という境地に到達するのです。  
 私たちの校歌は、漢学者  
 として最高の栄誉を得、ま  
 た国歌「君が代」を考証す  
 るという偉大な学者という  
 だけでなく、実に立派な人  
 格者によって作られていた  
 のです。  
 何とも誇らしいではありませんか。  
 「黎明すでに朝は盈つ：で  
 始まり、：努力の前途に光  
 ぞみたん」で終わる我らが  
 校歌は、柿村松南の苦難と  
 栄光の生涯そのものように  
 南が将来を担うであろう私

達に対する期待と願いがこ  
 められていると思います。  
 母校もあと数年で創立百  
 周年を迎えます。これから  
 この校歌を歌う時は日本一  
 の歌詞なのだとの誇りを持  
 ち、声高らかに力強く歌い  
 たいものであります。  
 天国の松南先生に私達の  
 元気な声が届くように：。

## 唐商の百年を

### 貫く精神を探る

校長 岩本 公章



若桐同窓会の皆様には、  
 日頃より本校の教育活動に  
 つきまして格別のご高配と  
 ご協力を賜わり心からお礼  
 申し上げます。  
 さて、唐津商業高校は創  
 立百年の節目に向かってい  
 ます。この間、一万七千名  
 を越える若桐同窓生の皆様  
 を輩出し、母校を支えて来  
 た精神とはどのようなもの  
 なのでしょう。か。  
 「佐賀県教育五十年史」  
 （大正15年発刊）の唐津商  
 業の巻は、「大正6年8月

**若桐第16回ゴルフ大会のご案内**

- 日時 平成25年10月4日(金曜)
- 場所 唐津ゴルフ倶楽部
- 時間 10時13分スタート
- プレイ費 8,800円
- 会費 3,000円(表彰式費用)
- 表彰式 唐津ゴルフ倶楽部  
優勝・飛賞多数
- 申込期日 平成25年9月20日(金迄)  
(先着40名で締め切り)

大会名誉会長 中嶋 廉太  
 実行委員長 浦田由紀男

事務局連絡先 -----  
 唐津市二太子1-7-13  
 堤 博 利  
 TEL 0955-74-1307

※組合せ希望があれば返信はがきにて希望者氏名をご記入下さい。  
 ※HDCPはダブルベリア方式で行います。  
 総会及び懇親会は、翌日唐津シーサイドホテルにて16時より開催されます。多数のご参加宜しくお願い致します。

**平成25年度本部若桐同窓会総会のご案内**

日時 平成25年10月5日(土)午後4時00分～  
 場所 唐津シーサイドホテル  
 唐津市東唐津4丁目 Tel 0955-75-3300

議題 会務報告・決算・予算・事業計画

懇親会費 ￥4,000 (総会終了後)  
 ※チケットも販売しています。

年会費 ￥2,000 (未納者のみ)

※準備の都合がありますので9月20日(金)までに、同封の葉書にて出欠のご返事をお願いします。

※総会終了後懇親会を予定しておりますので車はご遠慮下さい。

佐賀県立唐津商業高等学校若桐同窓会  
 会長 毛利 一幸  
 若桐同窓会実行委員会(同校第18回卒業生)  
 委員長 伊藤 泰彦

15日唐津町在住小関世男雄、  
 関根義幹等商業地たる当地  
 に同教育機関なきを遺憾と  
 し、私立唐津商業補習学校  
 の設立を計画し、認可せら  
 る」で始まります。そして、  
 経営方針の項には、「地方  
 実業界の發達は商業教育を  
 受けたる青年がその中心と  
 成るに非ざれば之を期する  
 こと不可能なるを以て漸次  
 卒業生の輩出によりて所謂  
 中堅実業家を養成し地方一  
 般の商業界を改善し其面目  
 を一新せんとす」、「地方一  
 般に尚商業高校の性質を理  
 解せず只漫然商業学校より  
 も中学校方可なり」と云うが

如き考を有するもの多きを以て時々講演会・展覧会等を催して地方人に学校の性質・内容等を知らしめ地方の実業界を刺激して其進歩発達助長せんことを期す、「学校の性質に鑑み所在地実業家との連絡に注意し、学校及卒業生の発展を計らんとす。此創立時代を機とし質実剛健なる校風の樹立に努め品性善良なる真正の商業家を養成し本校設立の目的に添わんとす」とあります。また、訓育の項には、「商業学校の学生は不規律に流れ易きを以て職員一致して厳正なる規律の養成に努む」や、「商業学校の学生は卒業後も多く営利事業に従事するを以て余りに万事を自己の利害より打算し過ぎる利己的なる傾向あるを免れず、故に公共心養成は其最も必要とする処なれば断へず訓育上此点に注意し又社会奉仕的意義ある催しをなし其弊を矯めんと努めつつあり」とあります。さらに教授の項には、「本校は卒業後直に実務に就くものを養成する処なるを以て教授も常に其目的に適ふ様注意し出来るだけだけ実用的ならしむ」とあります。

このことから、本校創立期の精神は、唐津に商業教育を普及・啓発して中堅実業家を育成し、商業界の発展に寄与すること、質実剛健の校風と厳正な規律により人材育成に努めること、そして実学や地域との連携で実践力と倫理観を具えた真正の商業人を育成することでした。

ところで、現在の教育目標は、「ビジネスの知識と技術を習得させて地域や経済社会の発展に寄与しうる人材を育成するとともに、心豊かで心身ともにたくましい唐商生を錬磨する」です。また、経営方針には、「生徒の学びの姿を通して、地域に有用で信頼されるビジネスの専門高校づくりを進める」、「地域や実務と関わるビジネスの学習を進めて実践力を育成する」、「唐商生としての学びの形を整える」などをあげています。これらは創立期の精神に合致するものです。皆様を育てた精神は、本校の不易として百年の間引き継がれ現在の生徒たちを立派に育てています。

生徒、職員一同、この百年を貫いた精神を堅持し、伝統ある校風を発展させるように努めていく所存です。今後とも若桐同窓会の皆様には、変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます。



**東京支部**

東京支部 広報部長

吉田 広信

東京若桐同窓会の総会は第54回を迎え、例年同様に「浅草ビューホテル」で開催されました。

今総会には、平成19年卒業後、明治安田生命保険相互会社に入社され、ロンドンオリンピックボート競技に出場された、厳木出身の福本温子さんが、日の丸の赤いブレザーに白いパンツのユニホーム姿で出席されました。

福本さんは、友達からの誘いでボート部に入部したとのこと、「負けず嫌いで勝ちにこだわらなかつたためボート部に入部し、練習に冒頭しました。ボート競技は、普通の生活ではなかなか出会えない競技です。



ボートに初めて乗った時の感動が今でも忘れられず頑張っています。唐商に入学していなければ、今の私はなかつたと思います。」と話していました。

続いての登壇は、内閣総理大臣認定の公益社団法人「日本吟道学院」理事長として活躍中の浪口荘一郎(宗神)さん(昭和33年卒)。



『新卒者の歓迎会』  
関東支部では、5月14日(火)、東京新宿で若手主体の歓迎会を企画し、新卒者7名、若手会員6名、学校からも進路指導主事の北園先生が遠路出席くださり、楽しい一日を過ごしました。

日本吟詠会の第一人者としての詩吟を披露してくれその声の美しさ、声の響きに会場はしばしの間吟詠の楽しさに、目と耳は壇上に釘付けとなっていました。

懇親会は、会員によるマジック、カラオケ、恒例となった抽選会では、母校の化粧水30本、ビューホテルの食事券等々が用意された中者も、残念ながらハズレた者も、喜びと溜息が入り交じりの大盛会でした。

次回支部総会は、平成25年10月26日(土)に浅草ビューホテルで開催予定です。



佐藤会長の挨拶後、北園先生から、新卒者、若手会員への激励の言葉を頂き、続いて7名が自己紹介と抱負等を語ってくれましたが、やっぱり東京は人が多い、ビルばかり、いつもお祭りみたいだと感じたそうです。





若桐同窓会関西支部  
支部長 川添 雅史

関西支部

将来については、仕事が楽しく出来る人、働いて車と家を買って親を楽させた、自分を育ててくれた地元のために働き、地域の発展に貢献する等と、大きな夢と希望がいっぱいでした。若手会員もそれぞれ激励と言葉で歓迎し、谷口譲二君(平成14年卒)は、東京には全てがある、ないものはない、東京で盛りあげて唐津を盛りあげる、一緒に頑張ろうと激励して頂きました。各新卒者頑張ろう!



平成24年度関西支部総会(83周年) 11月10日、心齋橋 大成閣・一部総会・二部懇親会・二次会は会場を変え実施。例年参加人数40名、今年は35名内東京より河島誠二氏の応援参加を入れても残念結果と成る。総会準備役員会で参加人数だけが目的では無いが、しかし参加人数増減が解りやすい物差し。又多いと賑わいも『来る』と楽しい総会が解る。今後の安定した参加者にも繋がる活動を主に取り組んで参ります。

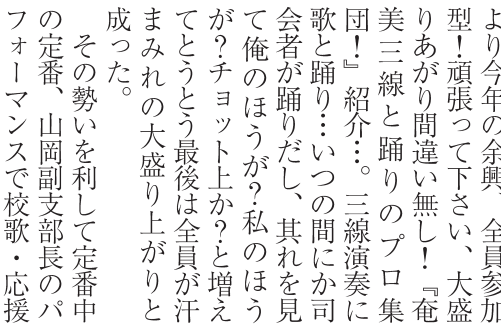


多く関心も高まると考え強化を図る。◎年会費は必ず納め、会に対する理解は高いが諸事情で欠席。48名  
・高齢で健康体力に不安  
・家庭内環境(介護中)  
・今年都合が悪い。  
24年度の参加人数より多く半数でもと思うが不可、都合が付けば次年参加。  
関西支部総会は3部構成で、一部総会 二部懇親会 三部二次会「寿しからつ」定番。  
総会に先立ち、司会者加茂広報部長より物故者報告と黙祷を行う(坂本幸之助13年卒・白井土25年卒の各氏)



引き続き開会の言葉・支部長挨拶・宮寄会計担当より若干で有るが繰越が出来た報告に会場拍手、本部来賓の毛利一幸会長より挨拶、苦しい支部予算に付いて本

引き続き開会の言葉・支部長挨拶・宮寄会計担当より若干で有るが繰越が出来た報告に会場拍手、本部来賓の毛利一幸会長より挨拶、苦しい支部予算に付いて本



部副支部長と交代、築山保先輩の乾杯御発声でスタート、暫し食事と歓談、会話が次第に唐津弁が増え何時もの同窓会らしく成って来た頃合に、司会者より今年の余興、全員参加型!頑張り下さい、大盛り上がり!『奄美三線と踊りのプロ集団!』紹介...三線演奏に歌と踊り:いつの間にか司会者が踊りだし、其れを見て俺のほうか?私のほうか?チョット上か?と増えてとうとう最後は全員が汗まみれの大盛り上がりとなった。



その勢いを利して定番中の定番、山岡副支部長のパフォーマンスで校歌・応援

部の考え等々賜り無事一部終了。  
二部懇親会は司会を山岡茂年副支部長と交代、築山保先輩の乾杯御発声でスタート、暫し食事と歓談、会話が次第に唐津弁が増え何時もの同窓会らしく成って来た頃合に、司会者より今年の余興、全員参加型!頑張り下さい、大盛り上がり!『奄美三線と踊りのプロ集団!』紹介...三線演奏に歌と踊り:いつの間にか司会者が踊りだし、其れを見て俺のほうか?私のほうか?チョット上か?と増えてとうとう最後は全員が汗まみれの大盛り上がりとなった。

歌の大合唱。更に、余韻を利用して坂本峰副支部長より元気に閉会の言葉は次年度総会連絡会に様変わり。  
11月9日の第2土曜日・会場は大成閣・午前11時20分と今直ぐ手帳に予定を入れて下さい!今年参加の方には総会案内状は出しません!必ず参加してください!では来年再会を誓い一旦閉じます。  
二次会へ移動、余韻が残り過ぎたか?会場を一步出た瞬間、見た事の無い唐津に「此処は何処だ!!」関西若桐同窓会の会場を唐津と勘違い一瞬迷子(毎身体験!酔っ払い?)唐津と全く違った人通りに(心齋橋)ビックリ驚く始末。  
二次会(寿しからつ)大勢の方が参加頂きました。すし詰め状態は例年同様ですが、又来年を約束し呼子の干物を土産に家路へ...お疲れ様でした。

福岡支部

福岡支部 華の会  
代表 岡本 清憲

福岡支部では、毎年1月に、新春懇親会を開催しております。平成25年も1月20日(日)に福岡市天神の平和楼本店にて、同窓会本部会長殿を初め、副会長殿並びに学校関係(同窓会事務局)9名のご参加を頂き、福岡

福岡支部は、各学年幹事殿が出欠を確認し、今年、俺の学年が一番多かったと競って参加者を募っています。  
福岡市内及び近郊の若桐同窓生(特に、平成年度卒業の方)是非ご参加下さい。次回、平成26年は、1月19日(日)11時30分、福岡市天神の平和楼本店です。  
平成26年の幹事は、商業2回(S39年)卒業です。皆さんの参加待っています。

支部員131名、総勢140名にて盛大に開催致しました。  
参加メンバーは、昭和20年卒業(商24回)の大先輩から平成5年卒業(商31回)まで幅広くご出席頂いております。  
年1回の懇親ですが、同窓生として酒を酌み交わし学生時代を思い出し楽しい一時です。  
エンヤー!エンヤー!と唐津くんち曳山囃子から、同窓生の芸達者な方も多く、飛び入りとして詩吟有り、安芸節有り、ジャンケン大会有り、バザーから大抽選会へと盛り沢山です。  
又、各方面からのご協賛も頂き、参加者全員へ、松露饅頭を初め記念品も多数ございます。  
最後は、勿論、校歌、同窓会の歌、Ein Zwei i Drei 八千の港の全員合唱で閉会となりました。

### 喜寿を祝う

#### 同窓会

実高7回卒 (昭和30年卒)

小宮 佐和子

今年の5月24日(金)唐津シーサイドホテルにて「喜寿を祝う同窓会」が開催され、遠くは東京、千葉、埼玉、大阪から参加されていて、なつかしく又、この形式による同窓会は、今回が最後とあって、なにかしらさびしさをおさえて明るく楽しいひとときを過ごしたように感じています。

又毎回出席されている恩師吉田綾先生のお元気なお姿を拝見して、大変刺激を受けました。実は私は今年の三月末で八年間勤務した佐賀市立公民館を退任したばかりで、はつきりと先のこととは考えておらず、漠然としていましたが、人や地域のため、今迄の経験を活かして貢献出来ることをしたいこうと決めました。

又当日は謡曲や詩吟をうたわれたり、俳句、川柳を印刷された作品もいただいで感心した次第です。日頃の研さんぶりが伺え、皆様の頑張りがすばらしいことだと思いました。

最近の新聞に、高齢の方には特に励ましや、ほめる

ことが必要だとありました。励まして元氣になり、ほめることが喜びになり、評価されると頑張ろうと云う気になります。これは私が公民館にいて絆を大切に実践してきたことでもありません。同窓生の皆様と、もう二度と再会することもないかも知れないと思うと、全同窓生に幸多かれと願わずにはおられません。皆さん！どうかお元氣で。



喜寿を祝う同窓会



### 今年9月

#### 80歳を超えて

商業27回卒

大西 康雄

今日に至るまで、2月11日紀元節に、約四十年に及んで、一年足りとも開ける事なく全員参加の集いであるのが、第二十七期生の誇りであり此れぞ、唐商健兜此にありの人生としての歩みでもあり共々共に振り替えて見ますと、あの花吹く四月に神之浦の母校に縁あり、人生50年の教育を目標あり心身協健へと教育を受け、早や80歳を超えた人としての生きる姿です。本年より五月晴れに会おう事となり多少は年を重ねたかと思うが、まだ、この天の声に元氣百倍、一歩、二歩と笑顔での集いあり。



母校教師として、私達への教育の便を私子(親)に勝る恩師北島健一郎先生の卒寿を迎えられ、一言若桐あつての人生であつたとの心からなる涙を浮かべての謝礼でありました。

最後には同期生同様の愛情にての酒を飲み交わして長崎荘宴会場狭しと、応援歌にて手一本締めにて閉会約三時間の若桐ならではの同期会でした。

作文作製中は太宰府市の吉松幾次君よりコールあり三年生の折りに登山部員として阿蘇中岳に登山した由机の上の勉学は足り無いものであつたが、あの折の先生と共に一夜を過した夢は忘れる事は無いとの事で、結びとしての大輪を咲かせて呉れました。有難う。

### 昭和34年3月卒業

#### 実高商業科

#### クラス会のお知らせ

実高11回卒

本多 利紀

昭和34年、八百千の港、めずらの里を巣立ち、まもなく55年の時が流れて、それぞれの人生をお元氣にご活躍のことと思います。古稀を過ぎ、長寿社会の世の中とはいえ、本人はもとより、ご家族の心配事も多く

同窓生と再会することなど年々できにくくなりました。この度、発起人一同で左記により、クラス会を企画いたしました。

心機一転、懐かしい顔が一同相集い、平成30年には、学び舎が目出度く創立百周年を迎えられますよう祈念し、学生時代その後の思い出話等に花を咲かせたいと思います。

クラスのメンバー中、住所が判明している方63名(故人21名を除く)に案内を送付しております。もし未着等がありましたら左記へご連絡下さい。御多忙とは存じますが是非「足をお運び下さい。」

#### 記

日時 平成25年10月16日 水曜日

午前11時開宴 (受付開始10時30分)

場所 割烹旅館「長崎荘」 唐津神社前

電話 〇九五五―七二―二二五四

〇二二〇―二二―五五八〇

会費 八千円

発起人(連絡先)

宮原申一

〇九二―五五三―六一二五

本多利紀 〇七四四―四三―二〇〇八

### 昭和47年 第10回卒業

#### 還暦同窓会開催のお知らせ

商業10回卒

古賀 一也

卒業から42年を迎えた今、皆様お元氣でしょうか。そして今年還暦を迎えます。この年に記念同窓会を開催します。万障繰り合わせの上、お声を掛け合いご参加下さいますようお願いいたします。

#### 記

日時 平成25年9月15日(日) 15時開会(受付14時より)

場所 長崎荘

電話 唐津市西城内6-36

電話 0955-172-2254

会費 男8000円 女6000円

世話人 古賀 一也

発起人

荒木奈保子、稲葉 文子、

浦方 英二、岡本 俊幸、

川添 政徳、加茂美紀子、

熊本 康秀、小島 達宣、

仁部 善美、宮崎寿美子、

前川 公望、牧山 士郎、

脇山 英博



平成24年度 若桐同窓会 事業報告

平成24年度 若桐同窓会決算書

佐賀県立唐津商業高等学校  
若桐同窓会

平成24年

6月8日(金) 若桐同窓会正副会長会  
『平野建設産業(株)』

6月8日(金) 会計監査『唐津商業高校校長室』

6月16日(土) 若桐同窓会理事会・歓送迎会『植月』

6月28日(木) 商高45回卒 福本温子  
ロンドンオリンピック女子軽量級  
ダブルスカル出場壮行会  
『唐津シーサイドホテル』

8月26日(日) からつ海上運動会『西の浜』

9月3日(金) 会報「若桐」第32号発行、  
総会案内と共に発送

9月17日(月) 若桐野球OB会『唐津市民球場』

10月5日(金) 若桐ゴルフコンペ  
「唐津ゴルフ倶楽部」

10月6日(土) 若桐同窓会総会  
『唐津シーサイドホテル』  
幹事:商高17回(昭和54年)卒

10月27日(土) 東京支部総会 本部より参加

11月10日(土) 関西支部総会 本部より参加

平成25年

1月20日(日) 福岡支部総会 本部より参加

2月28日(木) 若桐同窓会入会式  
「唐津商業高等学校体育館」  
激励のこたば  
(商高9回卒浦川 康様)  
新入会員へ記念品贈呈

収入の部

項目	予算額	決算額	残高	摘要
1. 前期繰越	3,559,501	3,559,501	0	平成23年度より
2. 通常会費	2,700,000	2,718,000	18,000	¥2,000×484名 ¥10,000×175名(51回卒)
3. 入会金	360,000	360,000	0	50回卒(H24.3月)180名×@2,000
4. 雑収入	499	22,493	21,994	預金利息・昭和39年卒一同2万円・CD売上
5. 特別会費	150,000	145,000	-5,000	歓送迎会会費
6. 終身会費	100,000	270,000	170,000	@¥20,000×4名 50回卒¥10,000×6名 51回卒×13名
7. 名簿売上金	440,000	442,500	2,500	新入会(51回卒 H25.3月)175名×@2,500 卒業生2名
8. 会員章売上	0	0	0	
合計	7,310,000	7,517,494	207,494	

支出の部

項目	予算額	決算額	残高	摘要
1. 事業費	2,820,000	2,015,181	804,819	
印刷費	20,000	8,400	11,600	封筒
通信費	130,000	106,420	23,580	切手・はがき・年会費振込手数料
消耗品費	30,000	9,388	20,612	事務用品
旅費	600,000	188,760	411,240	各支部総会出席・支部より本部出席旅費
手当	20,000	20,000	0	事務局手当
会議費	150,000	66,195	83,805	役員会・入会式・総会会場費
渉外費	600,000	450,413	149,587	支部総会寸志・歓送迎会費等
会報費	750,000	744,135	5,865	会報印刷、発送料
運営補助費	500,000	420,000	80,000	本部 東京 関西 福岡
雑費	20,000	1,470	18,530	残高証明書発行手数料等
2. 母校後援費	700,000	256,000	444,000	全国大会九州大会個別オリンピック出場等
3. 慶弔費	200,000	87,936	112,064	
慶弔費	100,000	51,396	48,604	香典等
記念品料	100,000	36,540	63,460	卒業記念品
4. 名簿印刷費	450,000	437,500	12,500	新入会(51回卒 H25.3月)175名×@2,500
5. 100周年記念事業基金	500,000	500,000	0	「100周年記念事業基金」会計へ
6. 会員章	0	0	0	
7. 予備費	2,640,000	0	2,640,000	
合計	7,310,000	3,296,617	4,013,383	

収入金額(7,517,494) - 支出金額(3,296,617) = 次期繰越(4,220,877)

第4弾！

**松ゆるる**  
Matural

おいしいと  
美味eat



食べる「松ゆるる」美味eatって？

唐津商業高校の生徒たちが“松”と“ナチュラル”を組み合わせ、考えたブランド「松ゆるる」に、ついに“食べる”「松ゆるる 美味eat」が誕生いたしました。塩こうじ・佐賀県産の玉ねぎを使い、コラーゲンを一緒に調合した調味料です。使い方も色々、毎日の食卓に美味しいひとときを添えていただければ幸いです。

**松ゆるる**  
Matural



《化粧水》  
松ゆるる Pine 滴  
《ジェルクリーム》  
松ゆるる Jell 椿  
《スティック洗顔》  
松ゆるる Pure 美柑

「松ゆるる」って？

松ゆるるとは“松”と“ナチュラル”を組み合わせ、高校生たちが考えたブランド名です。地元唐津で有名な虹の松原の松をテーマに赤ちゃんから大人まで皆でお使いいただける、シンプルで優しいスキンケアシリーズです。高校生が運営するショッピングモール“からつ学美舎”のオープンを機に開発され大好評を博しています。

からつ学美舎HPアドレス <http://karatsu.manabiya.co.jp/>

## 卒業生の進路 (過去5か年間)

項 目			卒業者数	進 学 者			就職者	自営業	未定者
卒業年月	学 科	性別		大 学	短 大	専門学校			
平成21年 3 月	商 業	男	64	13	0	14	37	0	0
		女	97	2	8	25	60	0	2
	会 計	男	16	9	1	1	5	0	0
		女	24	3	1	9	11	0	0
合 計			201	27	10	49	113	0	2
平成22年 3 月	商 業	男	52	7	0	17	25	1	1
		女	59	0	6	13	40	0	1
	会 計	男	22	12	0	2	7	0	1
		女	18	2	1	10	5	0	0
合 計			151	21	7	42	77	1	3
平成23年 3 月	商 業	男	47	4	1	14	27	1	0
		女	70	1	5	27	37	0	0
	会 計	男	17	8	0	4	5	0	0
		女	22	2	1	9	10	0	0
合 計			156	15	7	54	79	1	0
平成24年 3 月	商 業	男	49	4	0	18	26	1	0
		女	68	2	10	28	26	2	0
	会 計	男	11	6	0	0	4	1	0
		女	29	3	2	11	11	2	0
合 計			157	15	12	57	67	6	0
平成25年 3 月	商 業	男	58	5	1	20	31	0	1
		女	59	1	3	26	27	0	2
	会 計	男	17	6	0	5	6	0	0
		女	23	3	2	6	12	0	0
合 計			157	15	6	57	76	6	3

## 進 学 …進路状況…

No	学 校 名	男	女	No	学 校 名	男	女
1	長 崎 大 学		1	21	福岡医健専門学校	2	2
2	明 治 大 学	2		22	F・Cフチガミ医療福祉専門学校		2
3	福 岡 大 学	1	1	23	専麻生リハビリテーション大学校		2
4	九州産業大学	4		24	福岡和白リハビリテーション学院	1	
5	久留米大学	1		25	武雄看護リハビリテーション学校	2	1
6	中村学園大学	1		26	専九州スクールオブビジネス		1
7	九州国際大学	1		27	専西鉄国際ビジネスカレッジ		1
8	西九州大学	1	2	28	九州観光専門学校		1
9	福岡子ども短期大学		2	29	麻生建築&デザイン専門学校	2	
10	中村学園大学短期大学部	1		30	(専)九州デザイナ学院		1
11	西日本短期大学	1		31	福岡ベルエポック美容専門学校		1
12	香蘭女子短期大学	1		32	ハリウッドワールド美容専門学校		2
13	福岡工業大学短期大学部	1		33	東京スクールオブミュージック専門学校		1
14	広島会計学院電子専門学校	1		34	福岡スクールオブミュージック専門学校		1
15	麻生情報ビジネス専門学校福岡校	7	2	35	錦秀会准看護学院		1
16	麻生公務員専門学校福岡校	3	1	36	唐津看護専門学校	2	6
17	公務員ビジネス専門学校	2		37	佐賀県立産業技術学院	1	
18	大原法律公務員専門学校	1		38	全国食肉学校総合養成科	1	
19	福岡国際医療福祉学院		2	39	ミスパリエステティック専門学校		1
20	麻生医療福祉専門学校福岡校		2	40	六花エステスクール中州校		1

## 就 職 …一般企業・公務員等…

ア. 卒業生の業職種別進路調査 (平成23年度)      イ. 就職者地区別調査 (平成23年度)

種別	性別		全日制	
	男	女	男	女
事 務	2	17		
営 業・販 売	5	7		
技 能	24	5		
サ ー ビ ス	5	9		
理 美 容	0	1		
公 務 員	1	0		
自 営 ・ 家 業	0	0		
就職者合計	37	39		
四年制大学	11	4		
短期大学	1	5		
各種・専門学校	25	32		
進学者合計	37	41		
家事手伝い	1	2		
未 定	0	0		
合 計	75	82		

種別	性別		全日制	
	男	女	男	女
関 東 地 区	7	4		
中 京 地 区	4	2		
関 西 地 区	0	4		
福 岡 地 区	10	11		
県 内 地 区	14	18		
そ の 他 地 区	2	0		
合 計	37	39		

### \* 主な就職先企業名

- 《 関 東 》 ・ ENEOSグループガスターミナル・東京ガス・東京地下鉄・西武鉄道・杉孝・山崎製パン・富士重工業
- 《 中 京 》 ・ 太平工業東海支店・セラミックセンサ・ビューテック・住友ゴム工業
- 《 関 西 》 ・ 関西電力・美々卯・汐屋
- 《 福 岡 》 ・ 九州旅客鉄道・三井ハイテック・エヌ・ジェイ・アール福岡・マルキョウ・にしけい・フォーサイト・武田メガネ・ゼネラルアサヒ・ハイマート・ナチュラル・空調技研工業・五洋食品産業・ホンダプリモ博多・佐川急便九州支社
- 《その他》 ・ マツダ
- 《 県 内 》 ・ 唐津信用金庫・唐津市農業協同組合・唐津ロイヤルホテル・唐津シーサイドホテル・昭和自動車・ワイビーエム・まいづる百貨店・宮島醤油・金子産業・ヤマフ・松浦重機・日東工業・ジェイテック・虹の松原自動車学校・富士・コアスポーツクラブ・田代歯科医院・名村造船所・昭和金属伊万里・金型メンテナンスサービス・九州内田鍛工・村岡総本舗・九州林業クレスト・唐津第一病院・藤崎病院・たなベクリニック産科婦人科・虹と海のホスピタル・松籟病院・冬野病院・服巻医院

# 佐賀県高校総体 入賞おめでとう!

陸上競技部

女子4×400mリレー 第2位 渡邊 芽乃、山下 莉穂、浜崎 都花、山下 愛絵

ソフトボール部

第3位

ボート部

男子シングルスカル第1位 柴田 遼河 -全国大会出場-

男子ダブルスカル 第3位 柴田 遼河 横田 聖幸

女子シングルスカル第2位 丸尾 亜未 -全国大会出場-

女子ダブルスカル 第3位 下尾明日香 丸尾 亜未

女子総合 第2位

## 総体以外

美術部

第66回 佐賀県高等学校スケッチ大会

奨励賞 金丸 未来

O.A部

第54回 佐賀県高等学校 ワープロ競技大会

団体第3位 -九州大会出場-

個人(正確賞)第2位 野崎佑絹菜

簿記部

第29回 佐賀県高等学校 簿記コンクール

団体第2位 -全国大会出場-

個人第3位 辻 亮太郎

## 定時制商業科 資格取得状況

◎第74回 日商簿記実務検定試験 (平成24年11月18日実施)

2級合格 4年 笠木 克人 4年 山下 真紀

## 平成25年度佐賀県高等学校 定時制・通信制総合体育大会成績

陸上卓球 梅田さん	個人 3位 末武さん	卓球部女子 団体 3位入賞	卓球部男子 個人 3位 笠木君	決勝戦 唐津商業1-3 佐賀北	団体 準優勝	卓球部男子 3位 唐津商業1-2 佐賀工業	バレーボール部男子 唐津商業30-35 佐賀工業	バスケットボール部男子 唐津商業30-35 佐賀工業	個人 100m 2位 梅田さん	陸上部女子 走り幅跳び 1位 梅田さん 3位 南里さん
--------------	---------------	---------------------	-----------------------	--------------------	-----------	-----------------------------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------------	--------------------------------------

### さがんアスリート 水泳競技日本代表

かな じ よし かず  
**金持 義和** (商高50回 H24卒・大阪体育大2年)  
第22回 夏季デブリンピック水泳競技 (ブルガリア・ソフィア)

50m背泳ぎ 金メダル (世界新記録)  
100m背泳ぎ 銀メダル  
200m背泳ぎ 銀メダル

2013年7/26(金)~8/4(日) 開催地:ブルガリア、ソフィア

